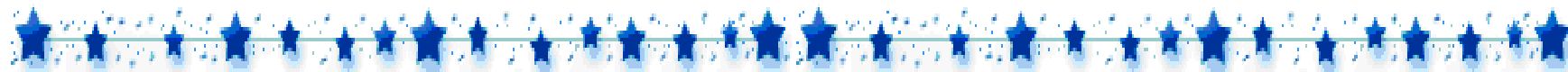


育児休暇を経験して

K・Mさん



今から4年前の平成17年1月から3月末までの3ヶ月間だが、幸運にも育児休暇を取ることができました。採用された当時は、『育児休暇って??』というぐらい制度についても育児についてもわからない、興味がない状態でした。採用当時の職場は女性が多く、上司や先輩の方から「男性の（育休取得）第一号になるんだよ。」と結婚もしていないのに言われていました。その時は大勢の男性職員がいるのに育休取得者が（男性では）誰もいない、ということにただ驚いたぐらいでした。それから数年が過ぎ職場の異動もありましたが、まさか自分が育児休暇をとるとは思いもしませんでした。

実際、育休をとることになったのは、妻の手術入院があったためでしたので、入院中の妻の所に子供を連れて行くのが最初

のころの日課になっていました。病院から家に帰るとオムツ換え、ミルク、お昼寝となんとなく生活リズムをつかんで、洗濯や食事の準備等となんとなく家事もしていました(最初の頃は実家に世話になることが多かったのですが・・・)。その中で子供と二人きりで過ごせた期間は、育児は大変！って、気付かされましたが、その大変さよりも子供と一緒にいる楽しさ・面白さが大きいことに気付くことができました。それが今の生活にも繋がって、子供の面倒を見るのが当たり前の感覚になることができた、かけがえの無いすばらしい体験だったと思っています。

私の考えですが、育休はお母さんだろうがお父さんだろうが取れる方が取れば良い。ただ、育児をお母さんだけに任せるのはもったいないので、お父さんも一緒になって積極的に係わっていたほうが良い。と思っています。ホントに子供って面白いですから(大きくなってくるとムカつく事も多々ありますが・・・)

今後、育休を取ろうかと考え中の方へ少しばかりのアドバイスです。といってもご存知の方がほとんどかもしれませんが、

恥ずかしながら私は自分が申請するまでわからなかったもの
ですから書かせてもらいます。育休期間中は無給になり数ヶ月
後から手当てが入ってくるのですが、それまで奥さんの収入の
み（もしかしたら無収入）になってしまいますし、手当ても基
本給より少なくしか入ってきませんので、その辺も考えながら
育休の準備をしたほうが良いと思います。（この手当てが（金
額的に）もっと充実したものであれば、今よりも少しは育休を
取りやすくなるとおもいますが。）

最後に、育休を取るときに嫌な顔ひとつもせず「頑張っ
て！」と応援してくれた上司や同僚、育休中精神的な部分や食
事等、随所で助けてもらった両親・親族に心より感謝申し上げ
ます。そして、多くのお父さんお母さんが当たり前のように育
児休暇を取れるような子育てしやすい社会になることを願っ
ています。

